

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	高齢患者の腎代替療法選択の現状と課題～共同意思決定支援を通して～		
② 実施予定期間	承認後 ～ 2026年3月31日		
③ 対象患者	対象期間内に腎臓内科外来に通院、または入院していた65歳以上の患者様で、慢性疾患看護専門看護師より腎代替療法（血液透析・腹膜透析・腎移植）について説明を受けたことがある方		
④ 対象期間	2022年1月1日 ～ 2023年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	腎臓内科		
⑦ 研究責任者	氏名	加藤由香	所属 看護支援室
⑧ 使用する資料等	診療情報等より下記事項を調査します。 1) 患者情報：年齢、性別、家族構成、就労の有無、希望する腎代替療法および選択理由、現在の治療形態（HD・PD・保存期）、腎臓内科初診日、慢性疾患看護専門看護師初回支援日、CKDに至る原疾患、今後の生活における希望等 2) 臨床検査項目：慢性疾患看護専門看護師初回支援時の血清クレアチニン、eGFR		
⑨ 研究の概要	透析導入患者の増加、および高齢患者の増加が今後も推察される。現在の透析治療の割合は、血液透析が90%、腹膜透析が3%である。腹膜透析は、バッグ交換などの手技習得が必要であり、特に高齢者は、サポート体制を整える必要があるため、腹膜透析の選択に消極的になる要因ともなっている。しかし高齢者にとって、住み慣れた在宅で治療ができること、身体的負担が少なく、QOLが維持できる治療法と言われている。そのため、今後生活していくうえでの希望などを組み込みながら、適正な腎代替療法選択を推進することが必要であると考えます。 そこで、慢性疾患看護専門看護師が腎代替療法についての説明を行った高齢患者の、社会的背景や生活環境、腎代替療法選択の現状を調査し、支援のための具体的な取り組み方について検討します。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		

⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。	
⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します	
⑭ 研究の資金源	なし	
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。	
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 看護支援室	
	電話	0942-35-3322（代表）